



Peace
Through Service

Sakuji Tanaka
Rotary International President
2012-13

Governor's Monthly Letter

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2550

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

FEBRUARY
2012-2013

Vol. 8

<http://www.rid2550.com/>

ガバナーメッセージ

第2550地区ガバナー 鈴木 宏



クラブ会長・幹事殿

寒い日が続く毎日です。今月は、特別な月でもあります。ロータリー創立記念日を2月23日（土）に控え、各クラブの皆様は様々なプロジェクトを立案されていることと思います。是非、ご報告いただきたくお願い申し上げます。今回は、「思いやる心」についてお話をしたいと思います。

「思いやる心」とは？

日本人の多くは、もともと農耕民族として、四季折々の自然をいとおしみ、抗し難い大自然や「見えない大きな力ー神仏」への深い畏敬の念を持って暮

らしてきました。何か悪いことをすると「そんなことをしたら、お天道様の下を歩けないぞ」と諭す、「天」に対するフェアプレーの精神がありました。何か行動するときには、「見えない力」ー神仏の目に照らして見るという判断の「縦軸」を持っていました。そして、自分に係る事象に対して「感謝の気持ち」を馳せるという素晴らしい習慣を「横軸」として持っていました。見えない力に照らす「縦軸」と、対人配慮という人と人との関係を大事にする「横軸」が「思いやる心」を支えている強力な二つの軸でした。

では、ロータリー発祥の地アメリカはどうでしょうか。1620年メイフラワー号に乗ってアメリカに来た102名の清教徒が、神の国を創ろうとしたのが、建国の基になったわけですから、根底にキリスト教があるわけです。キリスト教の基本は、神と人間の契約で成り立っています。すなわち「契約思想」で、その契約書が聖書なわけです。キリスト教を「縦軸」にした「思いやる心」は、神様が喜ばないことは自分にも他人にもしてはいけません。

ロータリーの「思いやる心」の縦軸は、月信No.3にも掲載いたしましたシェルドンの1911年のスピーチの中の「cosmic consciousness；天地の理法」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
第6・第7グループ合同IM報告	2
ガバナー公式訪問だより	3
地区世界平和フォーラム	4
2013 GSE フランスリヨン 派遣チームが決まりました	4
新入会員紹介	4
12月会員増強・出席報告	5
文庫通信	5
ロータリーコミック	
(初期ロータリーを顧みて)	12~6

News

主要行事 **ロータリーレート／1\$=88円**

2月10日(日)	第3回諮問委員会・第2回地区運営委員会
2月11日(月)	ロータリー財団補助金管理セミナー
2月17日(日)	R米山記念奨学会修了式、歓送会
2月17日(日)	地区チーム研修セミナー(飯村年度)午後～
2月23日(土)	平和活動(クラブ・グループ単位で)
2月24日(日)	地区会員増強セミナー
3月 3日(日)	会長エレクト研修セミナー PETS(飯村年度)
4月 7日(日)	第2回会長幹事会
4月14日(日)	地区協議会(飯村年度)
5月 9日(木)	12-13 GSE派遣チーム 出発 ～6/5まで。

と私は思います。この意味するところは、私たちロータリアンが、「森羅万象の背後に普遍的思想がある」ことを認識し、「多様性」を認め、「人類皆同胞である」このことを理解することによって、「私たちが自分自身の存在や力を過信することなく、傲慢にならずに生きる姿勢をもって、自分の良心に誠実に生き、そして相手を思いやる心」が生まれてくるはずです。

この「思いやる心」の基礎になる「愛」には「優しさ」が籠っていることが絶対条件です。そして、必要条件は何かと云いますと・・・

1. 自分自身と他人を肯定できること

誰一人としてこの世に同じ人間はいません。誰もが大切な存在です。それぞれが皆素晴らしい

というものの見方から自己肯定感・他者肯定感が生まれてきます。－assertion

2. 係る人を支持し、応援できること

他者に対しての尊敬と受容の心を持つこと、これが支持することの大前提です。

3. そういう気持ちを表現できる人間関係作りのスキルを持っていること

ロータリーは「人生哲学」とか「サービスの哲学」の実践の場と云われる位ですから、本当のところはペーパーで理解しようとしても無理でしょう。ロータリーは文字通り「習うより慣れる」癖になる事が大事です。出来る限り例会に出席し、クラブ活動に参加する中で、次第に体に染み込んでいくものと思います。

第6・第7グループ合同IM報告

第6・第7グループ合同IM実行委員

会場:ニューサンピア栃木



第6・7グループの合同インターシティーミーティングがニューサンピア栃木で11月17日午後3時から160数名の参加を得て開催されました。

主催・来賓者の挨拶後、各クラブの報告にうつりました。テーマは「ロータリーの思い出」とし卓話者は会員から募りました。ロータリーの入会時の思い出、奉仕活動や人との出会いなどを熱く話ってくれました。どの卓話も出席していたロータリアンが共有できた内容なので一層大きな拍手が会場に響きました。

小堀憲助先生は「決議23・34」について講演してください、なぜ1923年にセント・ルイス国際大会で「決議23・34」を採択したか、その時代のロータリーの背景についての話、各クラブと国際ロータリーの

分担と責務、「奉仕の実践」に関しては個人なのか所属クラブなのか、などを独特な小堀節で、100分以上滔々と語っていただきました。分かり易く話す内容に出席者は、食い入るように聞き入りこれからのロータリーライフに大きなインパクトを与えた講演になったことは間違い有りません。

その後、懇親会に移りジャズの演奏を聴きながら盃を傾け、会員同士の親睦に花を咲かせ、過ぎゆく時間が早いことを悔みながらインターシティーミーティングがお開きとなりました。



ガバナー公式訪問だより

真岡西ロータリー・クラブ・しもつけロータリー・クラブ

日時：2012年11月10日(土) 会場：グランドホテル静風

鈴木宏ガバナー公式訪問は、真岡西RCとしもつけRCの合同で2012年11月10日(土)快晴の中、グランドホテル静風で行われました。まず、しもつけRC会長、幹事とガバナーの三者懇談会を1時間、続いて真岡西RC会長、幹事とガバナーの三者懇談会を1時間行いました。この懇談会では出されたお茶を飲む暇も無いほど1時間びっしりとガバナーから指導をしていただきました。その後、17時30分から2クラブ総勢47名の合同例会を開始し、18時から鈴木ガバナーの卓話の時間となりました。お話の最初から演台の上ではなく、マイクを持って会員の席に近いところで、身振り手振りを交えて一人一人に語りかけるようにわかりやすい言葉で30分間お話をしていただきました。記念撮影を終え、18時50分から合同懇親会となりました。挨拶、乾杯のあと、ガバナーはずっと会員の席を回って精力的にお話をされ、ご自分の席に戻られたのは終了の数分前でした。このようにガバナーが会員の身近に接して積極的に語りかけてくれた公式訪問は、出席した会員にとって永く記憶に残るものになることでありましょう。



真岡西ロータリー・クラブ



しもつけロータリー・クラブ

真岡西RC/会長:上野 裕 幹事:日下田真美 しもつけRC/会長:公文初江 幹事:山本郁夫

宇都宮北ロータリー・クラブ

日時：2012年11月22日(木) 会場：宇都宮グランドホテル

11月22日、鈴木宏ガバナーをお迎えし、最後のガバナー公式訪問が開催されました。

16時より鈴木ガバナー、会長、幹事の3名で地区方針、又事前に提出した現況報告書に基づいた種々のご指導を頂き大変有意義な議論をさせていただき勉強になりました。

3者懇談の後、引き続き例会に入り点鐘、挨拶、バナー交換、ガバナーによるガバナーアドレスと続きました。

アドレスではロータリーの歴史、米山奨学会の成り立ちなど、ガバナーのロータリーに対する見識の深さ、広さに今更ながら頭の下がる思いでした。

炉辺会議では、会員と和やかに会話が弾み楽しい時間を過ごす事ができました、ありがとうございました。

ガバナーにおかれましては身体に充分留意頂き益々のご活躍をご祈念申し上げます。



会長:齋藤 隆 幹事:林田鐵弥



2012-13年度国際ロータリーは、田中作次RI会長のRIテーマ「奉仕を通じて平和を」の下、ベルリン・ホノルル・広島を会場に3回のロータリー平和フォーラムを開催します。それぞれの日程とテーマに合わせて各地区でも世界平和フォーラムを開催するように田中作次RI会長は推奨しております。

第2550地区では、ベルリンでの開催日に合わせて2012年12月2日(日)に宇都宮文星女子校を会場と

して「国境なき平和」をテーマとしたフォーラムを開催しました。

第一部の講師として、モンゴルより米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハ氏をお迎えし、心に残る素晴らしい講演をいただきました。

第二部では、参加されたインターアクターを中心に“平和”について話し合い、鳩を模った風船に“平和への願い”を参加者全員が描き、板橋敏雄元RI理事の掛け声に合わせて大空へ放ちました。

第2回地区世界フォーラムは、2013年1月27日(日)に宇都宮文星女子校を会場として「平和にいたる緑の道」をテーマに開催しました。詳細は次号に掲載させていただきます。



2013 GSE フランス・リヨン 派遣チームが決まりました

	リーダー	メンバー	メンバー	メンバー	メンバー
氏名	熊倉 学	野添 友理	木村 怜美	水谷 恭子	芳村 貴博
職業	歯科医	防犯・消防機器販売	保育士	管理栄養士	栃木県庁
勤務先	熊倉歯科医院 院長	株式会社 メディア・システム	まなびの森 あずま保育園	宇都宮市立石井小	保健福祉部健康増進課 主査
備考	宇都宮陽北RC	宇都宮陽北RC 推薦	宇都宮陽南RC 推薦	しもつけRC 推薦	宇都宮RC 推薦

新入会員紹介



富川 善守
(氏家RC)

栃木銀行
氏家支店長
平成24年11月22日 入会

皆様のお仲間に入れていただき、ありがとうございます。よろしくお願いします。



黒崎 裕康
(宇都宮西RC)

株式会社 白木屋
取締役社長
平成24年12月13日 入会

12月より入会致しました。ご指導宜しくお願いします。



溝邊 岳秋
(宇都宮西RC)

大銀杏法律事務所
弁護士
平成24年12月13日 入会

ご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



村井 邦彦
(宇都宮西RC)

医療法人 社団
宇光会村井整形外科医院 院長
平成24年12月13日 入会

整形、ペインクリニック、在宅医療支援、がん患者支援などを行っています。



安生 昌史
(宇都宮陽北RC)

株式会社 Studio Anjo
代表取締役
平成25年1月8日 入会

慣れるまでご迷惑お掛けすると思いますが、宜しくお願い致します。

国際ロータリー第2550地区 12月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	12月出席率			会員数								区分	クラブ名	12月出席率			会員数							
		例回数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員			例回数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員
第1グループ	大田原	4	91.98	89.81	32	32	0	1	1	1	0	2	第5グループ	小山	3	94.40	91.83	34	36	0	0	2	0	2	0
	黒磯	4	84.90	91.75	42	41	0	0	0	1	-1	2		小山南	4	98.61	91.13	20	20	0	0	0	0	0	3
	西那須野	3	87.72	88.20	37	38	0	0	1	0	1	0		小山東	3	91.66	91.49	32	32	0	0	0	0	0	0
	黒羽	4	96.88	96.36	16	16	0	0	0	0	0	1		小山北	3	75.00	79.73	24	24	0	0	0	0	0	0
	那須	3	83.33	80.51	12	12	0	0	0	0	0	2		小山中央	3	71.40	76.64	21	21	0	0	0	0	0	1
	塩原	3	71.42	69.05	8	7	0	0	0	1	-1	0	第6グループ	栃木	3	76.30	71.20	34	35	0	0	1	0	1	1
	大田原央	3	60.70	65.37	28	28	0	0	0	0	0	2		栃木西	3	82.30	85.61	32	33	0	0	1	0	1	0
第2グループ	鳥山	3	100.00	95.48	12	11	0	1	0	1	-1	1		壬生	3	90.19	86.89	17	17	0	0	0	0	0	2
	氏家	3	100.00	95.68	25	25	0	0	1	1	0	0	第7グループ	栃木南	3	93.30	85.65	30	30	0	0	0	0	0	5
	矢板	4	64.28	70.81	23	23	0	0	0	0	0	4		日光	4	85.71	80.12	23	23	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	88.00	88.97	18	19	0	0	1	0	1	0		鹿沼	3	86.20	78.75	62	63	0	0	1	0	1	1
	高根沢	4	86.00	81.28	16	16	0	0	0	0	0	0		今市	3	92.86	90.70	42	41	0	1	1	2	-1	0
	宇都宮	3	73.20	73.15	91	91	0	1	2	2	0	0		鹿沼東	4	91.07	87.87	41	42	0	0	2	1	1	2
	宇都宮西	3	94.17	92.70	65	71	3	1	7	1	6	0		栗野西方	3	83.33	83.12	12	12	0	0	0	0	0	1
第3グループ	宇都宮北	3	80.76	80.52	46	46	0	1	2	2	0	0	第8グループ	鹿沼中央	4	88.89	88.64	28	25	0	2	0	3	-3	2
	宇都宮90	3	84.53	86.97	39	40	0	0	2	1	1	3		今市きぬ	3	89.66	89.71	27	28	0	1	2	1	1	1
	宇都宮北	4	80.53	87.84	30	34	0	0	5	1	4	3		足利	2	60.94	69.95	33	35	0	0	4	2	2	0
	宇都宮東	3	95.17	95.75	94	96	0	0	2	0	2	0		足利東	3	72.83	76.42	55	56	0	0	2	1	1	7
	宇都宮南	4	81.27	89.06	43	45	0	0	3	1	2	0		足利西	3	82.23	77.32	15	15	0	0	0	0	0	0
	宇都宮東	3	79.27	79.06	40	43	1	0	3	0	3	0		足利利せ	3	96.70	97.27	31	31	0	0	0	0	0	0
	宇都宮南	4	83.33	81.22	16	18	0	0	2	0	2	3	第9グループ	佐野	3	86.90	87.19	62	67	0	0	5	0	5	0
第4グループ	真岡	3	81.53	84.36	51	54	0	0	5	2	3	0		葛生	4	88.60	89.35	31	33	0	0	5	3	2	0
	益子	3	93.50	89.03	26	27	0	0	1	0	1	0		田沼	4	90.06	90.39	38	39	1	0	1	0	1	0
	真岡西	4	96.21	91.86	35	36	0	0	2	1	1	6		佐野東	4	86.37	91.40	22	22	0	0	0	0	0	0
	しもつけ	3	89.70	89.86	31	30	0	0	2	3	-1	6		岩舟	4	73.10	77.52	21	20	0	0	0	1	-1	1
													5 O R C			85.14	85.01	1663	1699	5	9	69	33	36	67

文庫通信 (304号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

記念講演から

◎「日本政治の行方」	島田 敏男	2012	3p	(米山梅吉記念館館報)
◎「リーダーに求められるコミュニケーション技法」	八百谷和子	2012	5p	(D.2690地区大会記念誌)
◎「日本は世界で一番夢も希望もある国です」	金 美齡	2012	5p	(D.2690地区大会記念誌)
◎「日本の進路と誇りある国づくり」	櫻井よしこ	2012	4p	(D.2520地区大会レポート)
◎「豊かな生、豊かな死」	朔 元則	2012	18p	(D.2700地区大会の記録)
◎「東アジアの絆を求めて」	姜 尚中	2012	10p	(D.2700地区大会の記録)
◎「百済歴史遺跡地区の世界文化遺産登録に向けて」	李 タウン	2012	7p	(D.2700地区大会の記録)
◎「34年間の取材メモから見える日本、そして世界の課題」	柳澤 秀夫	2011	10p	(D.2600地区大会報告書)
◎「『お金の世界』から『いのちの世界』へ」	菅野 典雄	2012	7p	(D.2530地区大会記念誌)

[上記申込先:ロータリー文庫]

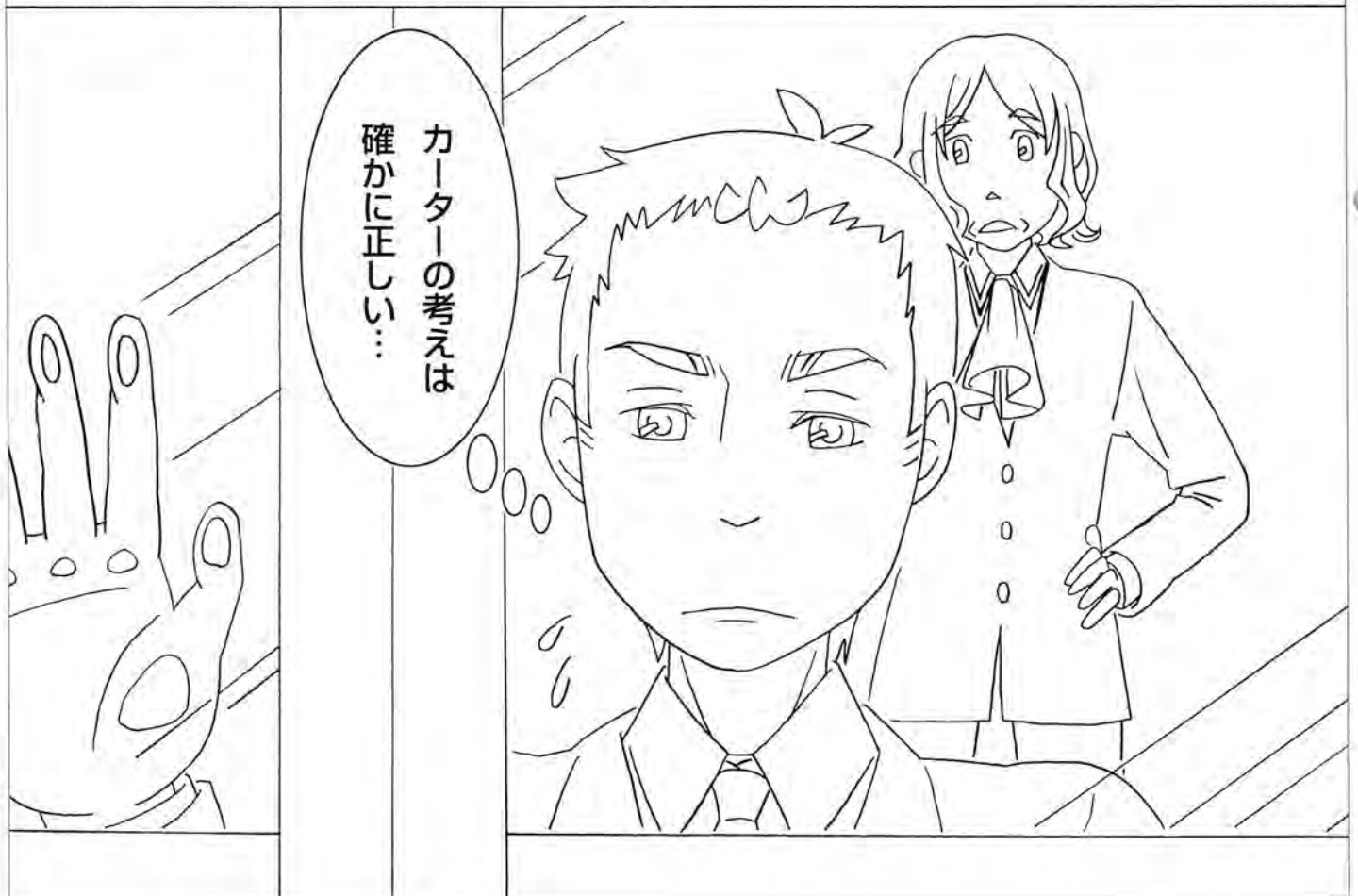
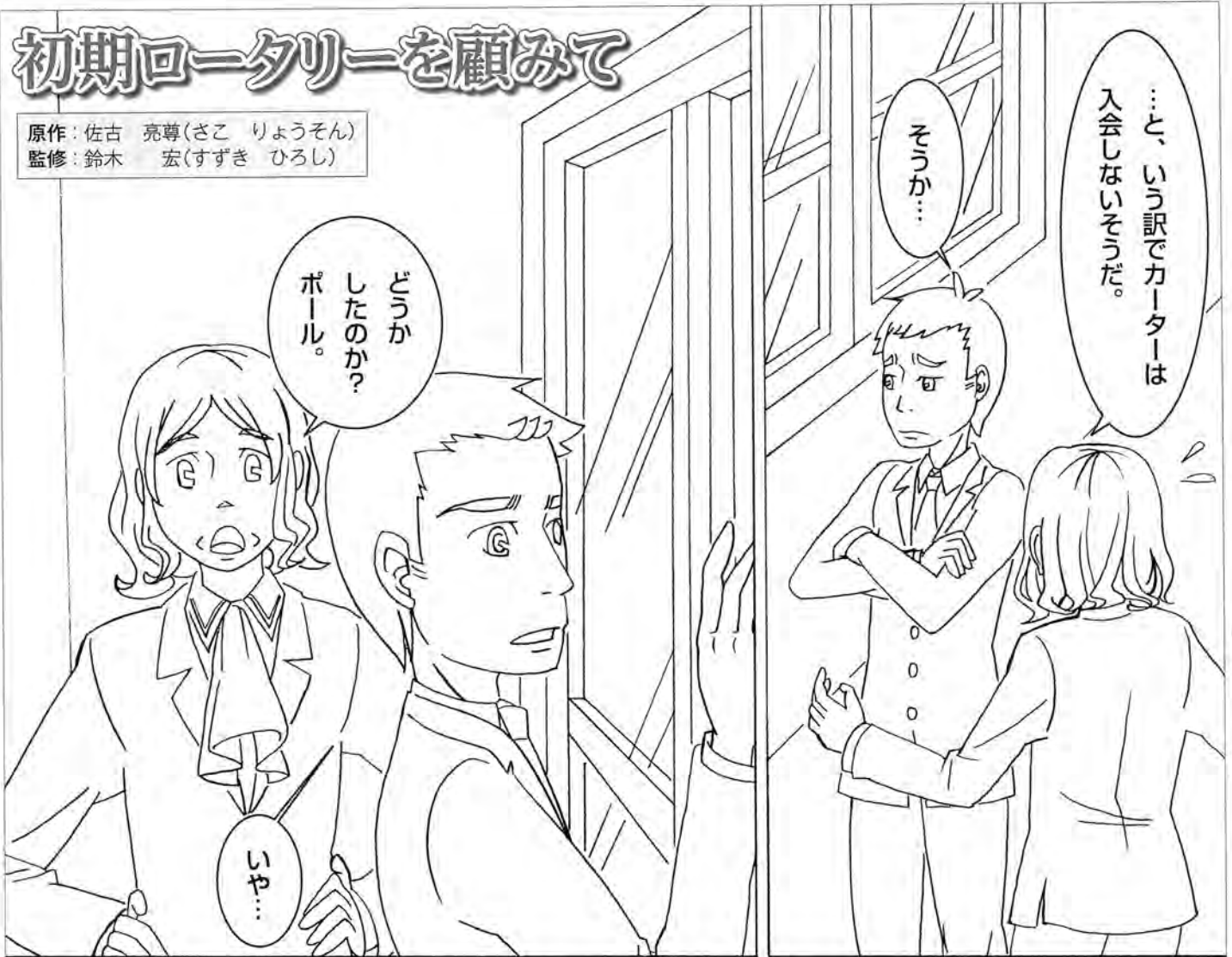
ロータリー文庫

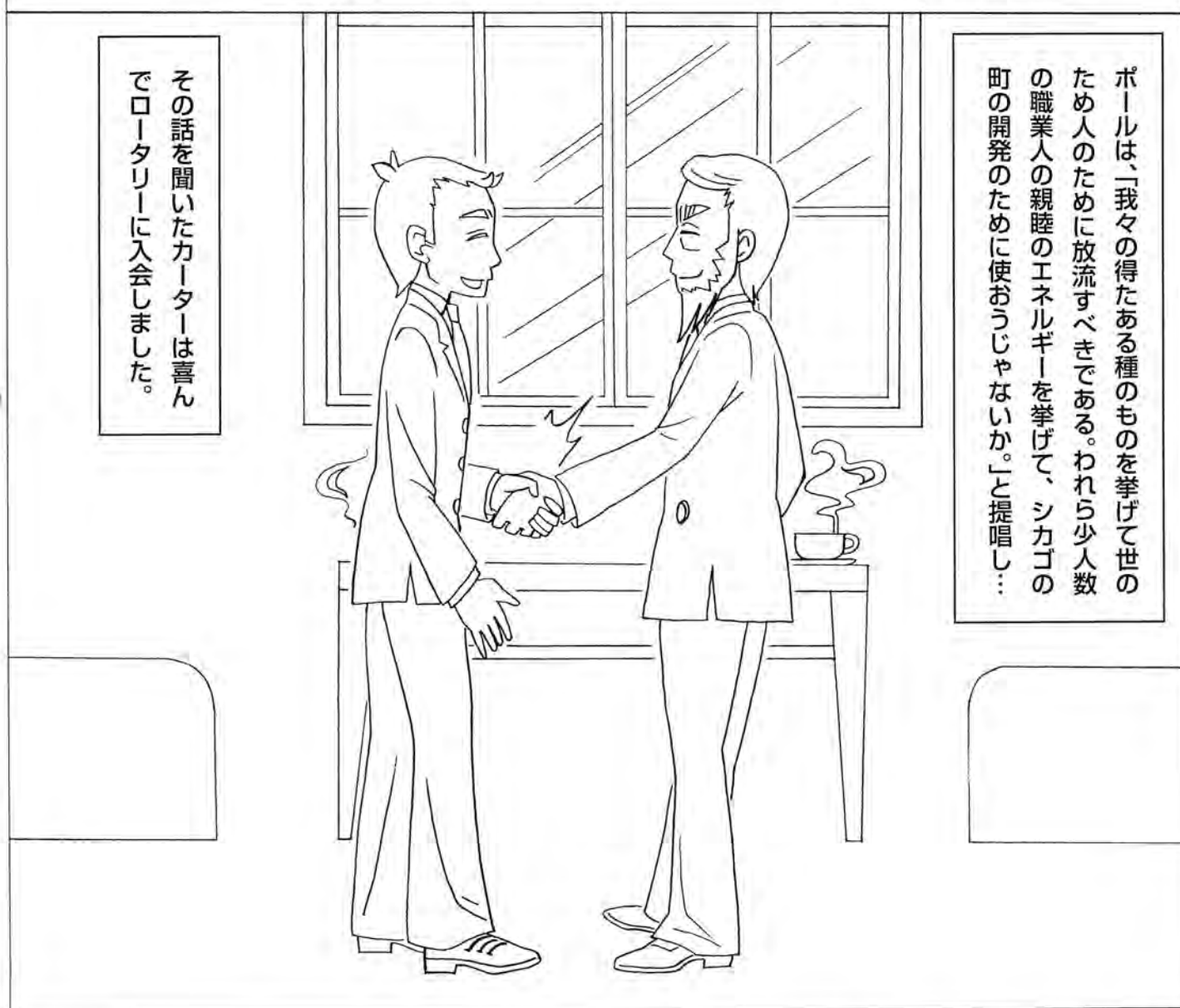
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
休館=土・日・祝祭日

初期ロータリーを顧みて

原作：佐古 亮尊(さこ りょうそん)
監修：鈴木 宏(すずき ひろし)





ポール・ハリスの会長就任

一九〇七年、ポールは自薦して
ロータリーの会長に就任しました。

ドナルド・カーターの言葉を受けたポールは…。

われらの個人的利益
のために集まるのは
ロータリーにあらず。

われら少数の職業人の親睦の
エネルギーを挙げて世のため、人の
ために放流する行動に出てこそ
初めてロータリーは生きてくる。

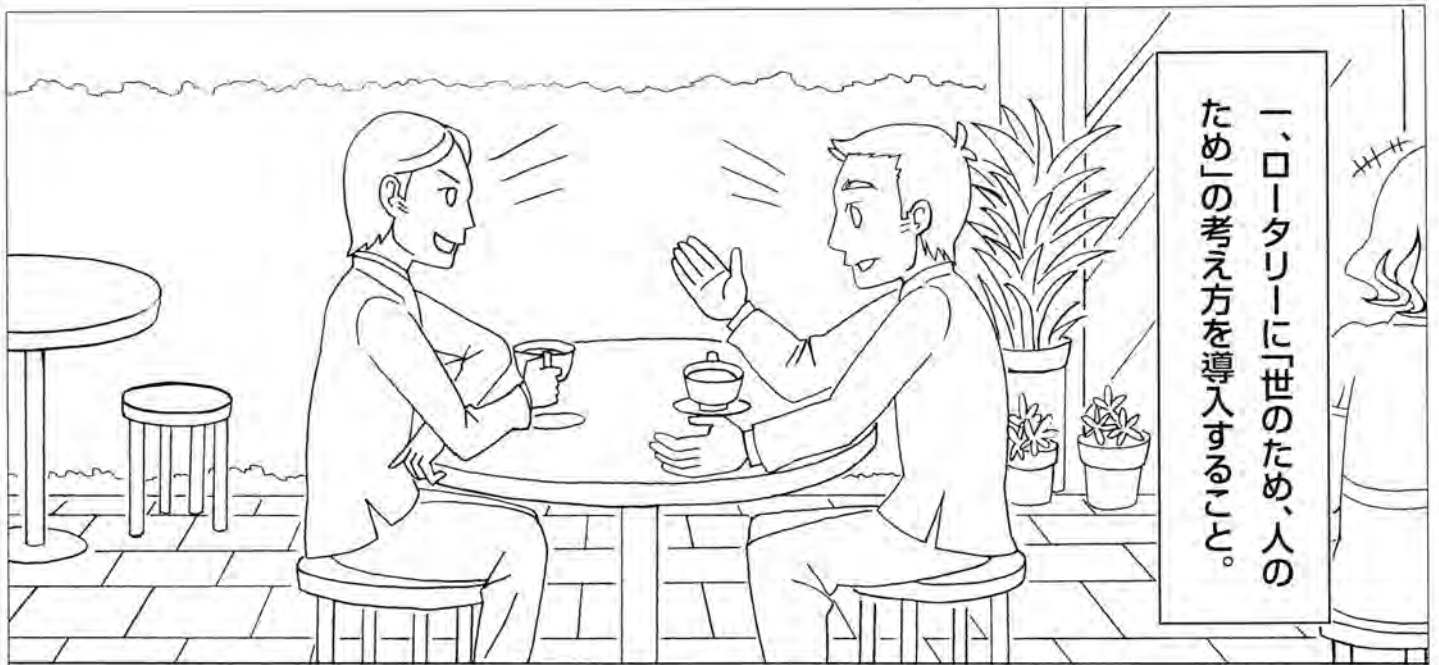
…と、説きました。

この時ポールは自分に
言い聞かせるのでした。

今までは互いに助け合おう、
助け合おうでやってきたが、
結構楽しかった。

グッ
ただどここれではいけない。

ロータリーの将来を立派なものに
するには少数ではあるが、我々の
親睦のエネルギーを世のため、人
のために放流しなければならない。



昔のままのロータリーで
あることは許されない。



この曲がり角に来た
ロータリーを誘導して正しい
方向に導けるのは……

ロータリー・クラブの
生みの親である
自分しかない。

ポールは、シカゴにはシカゴ
の町の発展の理想があり、ロ
サンゼルスやサンフランシス
コにも、ニューヨークやボス
トンにもそれぞれの理想があ
るはずだから、すべての都市
の職業人の心の渇きを癒すた
め、親睦のエネルギーをもつ
て世のため、人のための実践
を通して、ロータリーを拡大
することを考えました。

